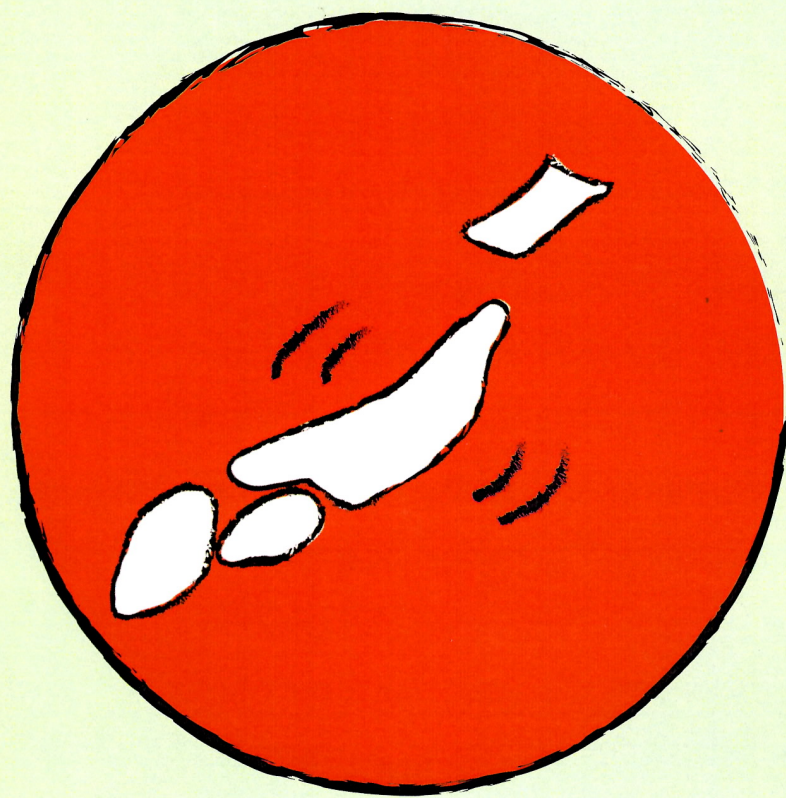


平成30年度 東日本大震災アーカイブシンポジウム 震災の記録を伝える～自然災害と防災教育

2019年
1月11日(金)
13:00～16:30
(開場 12:30)



参加費 **無料**
定員 **200名**



プログラム

(第一部) 緊急報告 大阪府北部の地震、北海道胆振東部地震の状況と震災アーカイブ～アーカイブの初動対応とは

- 災害記録の発展的継承を考えるー国立民族学博物館(みんぱく)の活動を通じてー 国立民族学博物館学術資源研究開発センター教授 林勲男氏
- 近年の自然災害からわかる自然災害アーカイブの重要性
～北海道胆振東部地震の調査からわかったこと～ 東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山明寛

(第二部) 震災の記録と防災学習

- 多賀城高校が取り組む防災・減災学習 宮城県多賀城高等学校校長 佐々木克敬氏
- いわて震災津波アーカイブと防災学習 岩手県復興局復興推進課推進協働担当課長 多賀聡氏
- 使ってみよう! 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく) 国立国会図書館電子情報部主任司書 伊東敦子

(第三部) パネルディスカッション: 震災の記録を伝える～自然災害と防災教育

上記報告者全員

問合せ先

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・
社会連携部門 災害アーカイブ研究分野

電話: 022-752-2099

メールアドレス:

archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

※シンポジウムの詳細については、

「みちのく震録伝」ホームページをご覧ください。

申込方法

下記「みちのく震録伝」トップページ掲載のシン
ポジウム案内からリンクしている「参加申込み
フォーム」にてお申し込みください。

定員に達した時点で受付を終了します。

「みちのく震録伝」

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>



会場

東北大学災害科学国際研究所棟1階
多目的ホール(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)

仙台市営地下鉄東西線

青葉山駅下車 南出口 徒歩5分

※青葉山駅は仙台駅から地下鉄東西線で9分

主催

東北大学災害科学国際研究所、国立国会図書館

